

# 東北医科薬科大学 若林病院 連携だより

## 4月から新たな病床数でスタートしました

病院長 阿部 達也

日頃から、皆様より連携を通じて多大なご支援をいただき感謝申し上げます。  
 2019年4月から 東北医科薬科大学 若林病院は、病床数が111床となりました。  
 少々コンパクトになりましたが、血液疾患の入院治療をのぞき、従来どおりの医療活動を進めてまいります。  
 新たに4月より回復期リハビリテーション病棟を開設し、地域要望の高い回復期の患者さんを受け入れていきます。従来からの急性期医療に加え回復期分野の医療を充実させていく方向です。  
 病棟の内訳ですが、下記のような内容となっております。

病棟名	病床数	主な入院疾患	特徴
回復期リハビリテーション病棟 (5階病棟)	20床	回復期リハビリ対象疾患	リハビリセンター (工事中) は同じ5階に位置しています 効果的にリハビリができる病棟になります
4階病棟	46床	呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病内科 および地域包括ケア対象の疾患	呼吸リハビリ、呼吸器疾患増悪患者さんの受け入れを行っています 腎生検、腎疾患治療、透析治療、糖尿病教育の充実を進めていきます 地域包括ケア病床12床は地域のさまざまなニーズに対応いたします
3階病棟	45床	外科、産婦人科、整形外科、 耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、 歯科・歯科口腔外科、消化器内科、 リウマチ科、膠原病対象疾患	手術を対象とする外科系の疾患、婦人科疾患の手術患者を受け入れています 主に内科のリウマチ治療を積極的に行っています

地域の皆様とはこれまで以上に連携を進め、上記の病棟を運営してまいります。変わりなくこれまでの入院の受け入れと退院支援と退院調整の活動を重視していきたくと考えています。

4月から、「入退院支援センター」を設置し担当の看護師が専任となりました。入院時に多面的にアセスメントを行い、退院にむけて病棟と協働して患者さんを支援していきます。患者さん・家族の意思決定を支えてその人らしい生活ができるように進めていきます。

病床数は減少しましたが、回復期リハビリテーション病棟を加え、患者さんの要望に応えこれまでの医療を充実させていく、「新生 東北医科薬科大学 若林病院」をどうぞ宜しく願いいたします。



**病院理念**

人権と生命の尊厳を守り、心のこもった  
温かい良質な医療の提供に努めます。

～目次～

- 4月から新たな病床数でスタートしました ……P.1
- 回復期リハビリテーション病棟 開設のお知らせ・新任医師挨拶 …P.2
- 退任医師よりご挨拶・転出医師よりご挨拶 ……………P.3
- 診療科紹介-皮膚科-・イオンスタイル仙台卸町にて開催!いきいき健康セミナー …P.4

# 回復期リハビリテーション病棟 開設のお知らせ

平成31年、令和元年となる今年度から「回復期リハビリテーション病棟」を当院5階に開設致しました。昨今、地域医療構想により病床の機能分化が進められており、当法人におきましても福室の東北医科薬科大学病院に急性期病床を集約し、若林病院ではリハビリを中心とした回復期病床へ一部転換する運びとなりました。

当該病棟の開設に向け、昨年度に病棟の改修工事を行いました。病室が生活の主体とならずに離床して過ごせるようデイルームを拡張しました（写真①）。また、車椅子用トイレも増設しています。今後、リハビリテーションセンターも1階から5階へ移設し、7月頃にリニューアルオープンの予定となっております。

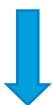
施設、設備の充足だけでなく、スタッフの教育にも力を入れてきました。多くの他病院様で見学・実習させていただき研鑽を積んで参りました。

現在も若林病院の特色を出すべく「人権と生命の尊厳を守り、心のこもった温かく良質な医療の提供に努めます」という理念の下に、本人・家族を中心としたチーム医療の改革を進めております。

リハビリテーションを中心に、若林区並びに周辺地域の医療を支えていけるような病棟を作り上げていきますので、共にこの地域を支える他病院・他施設様には今後ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

## 【患者さん転院ご相談の流れ】

### ① 転院相談



患者総合支援室へご連絡、診療情報提供書・転院申込書をFAXでお送り下さい。  
（転院申込書はホームページよりダウンロードいただけます）  
TEL：022-236-5871 / FAX：022-236-5920

### ② 判定会



判定会後に受け入れ可否をご連絡します。

### ③ 転院日の調整



ベッド調整ができましたら、転院日をご連絡します。

### ④ 転院



☆お天気の良い日は、病棟から蔵王連峰や太白山・泉ヶ岳が見渡せます

## 新任医師挨拶



### 健診センター

かわな

川名 さやか 医師

健診センターに臨時職員として働かせていただくことになりました。以前は、一般内科として勤務しておりました。

早期発見、予防など患者様の健康な生活を支援できるよう努めて参ります。気になることやご不安な点などあれば、お気軽にご相談ください。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



### 眼科

ちば

千葉

なおき

真生 医師

2019年4月1日付で眼科へ赴任して参りました。今年度より病床の再編成等がありますが、これまでと同様に地域の皆様に安心して頂けるような医療を提供して行きたいと思っております。マンパワーが十分とは言えない状態ではありますが、可能な限り多くの外来および手術に対応していく所存です。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。



### 産婦人科

ひらが

平賀

ひろあき

裕章 医師

4月より当院で勤務開始しました平賀と申します。青森県八戸市で3年勤務したのち宮城県に来て3年目になります。患者様が安心して診療を受けられるよう心掛けて参ります。宜しくお願い申し上げます。



## 退任医師よりご挨拶（平成 31 年 3 月 31 日付 退職）



眼科科長  
佐々木 慎司 医師

2015年7月より、眼科で勤務させていただきました。当時、現病院組織への移行をひかえ、赴任当初からバタバタといろいろなことがあったのを覚えています。そのような状況でしたが、スタッフや地域の患者さんに支えられ、務めを果たすことができましたことに、お礼を申し上げます。

私事ですが、今春、仙台市泉区で開業を予定しています。新しいクリニックでは、いままで提供してきた眼科診療だけでなく、地域のなかで求められる眼科医療について、意欲的に応えていきたいと考えています。今まで、大変お世話になりました。今後とも宜しく申し上げます。



産婦人科  
石山 美由紀 医師

平成30年4月から1年間、産婦人科で勤務させていただきました。地域の先生方から多くの患者様を紹介いただき、医局の先生方のご指導、スタッフの協力のもと非常に恵まれた環境で多くの症例を経験させていただきました。心より感謝申し上げます。

4月からはスズキ記念病院に勤務予定です。若林病院での経験を生かして、患者様により良い医療を提供できるよう精進して参ります。今後とも、ご指導宜しくお願い致します。



内科（後期研修医）  
永井 良 医師

三年間、後期研修という形で診療に従事させていただきました。腎臓内科・透析科での経験を積んでまいりましたが、至らぬ点も多かったと思いますが、地域の皆様の健康増進の一助となれば幸いです。

三年間、本当にありがとうございました。



## 転出医師よりご挨拶

この度、血液内科が東北医科薬科大学病院へ移動となることに伴い、2名の医師が異動となります。

- 2019年4月1日付 阿部 正理 医師 東北医科薬科大学病院へ異動
- 2019年5月7日付 野村 順 医師 東北医科薬科大学病院へ異動

これまで、血液内科へ御紹介いただきまして誠にありがとうございました。引き続きどうぞ宜しくお願い致します。

血液内科 阿部 正理 医師

NTT 東日本東北病院時代より7年間、血液疾患を主とし内科診療に従事させていただきました。

この経験を踏まえ、医学部講師として新医学部学生の指導と引き続き血液疾患の診療を続けることとなります。長い間大変お世話になりました。今後とも宜しくお願い致します。

血液内科 野村 順 医師

この度、東北医科薬科大学病院へ異動となる野村と申します。2005年当時の宮城県立がんセンターよりNTT 東日本東北病院時代に赴任してきました。血液疾患をメインに診療してきました。赴任当時、無菌室を作っていただき、現在まで血液疾患の診療ができ、感謝しております。東北医科薬科大学 若林病院という名前になってさらに、病院形態も変わりつつあり、時代の流れを感じました。実力がない私が大学病院でどこまでできるかわかりませんが、可能な限り努力したいと思っております。引き続き若林病院へは外来診療のお手伝いに参りますので、宜しくお願い致します。

# 診療科紹介 — 皮膚科 —

東北医科薬科大学病院 皮膚科部長 川上 民裕

## ■皮膚科診療が刷新されました

皮膚科は、スタッフの医師3人とも東北医科薬科大学医学部皮膚科学教室からの派遣です。火曜日午後は講師の宮部千恵医師、木曜日午後は教授の川上民裕医師、金曜日午後は准教授の池田高治医師が担当します。

## ■目で見える臓器、皮膚の病気に幅広く対応して参ります

アトピー性皮膚炎、湿疹、蕁麻疹、乾癬（かんせん）、単純疱疹、性器ヘルペス、带状疱疹、ざ瘡（にきび）、白癬（水虫）、疣贅（いぼ）などのあらゆる皮膚疾患に、皮膚科専門医と医学博士を持った川上、池田、宮部の3人の皮膚科医師スタッフが対応して参ります。

入院が必要な薬疹、食物アレルギー、丹毒、蜂窩織炎、壊死性筋膜炎、膠原病、血管炎などは、通常の勤務地である福室（陸前高砂駅から徒歩5分）の東北医科薬科大学病院への依頼を、迅速に行います。

手術が必要な基底細胞癌、有棘細胞癌、悪性黒色腫などの皮膚癌は基より、粉瘤、脂漏性角化症などの良性腫瘍も、福室（陸前高砂駅から徒歩5分）の東北医科薬科大学病院への迅速な転院対応で、施術をして参ります。

## ■最先端の医療は福室（陸前高砂駅から徒歩5分）の東北医科薬科大学病院へ

アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、乾癬（かんせん）では、生物学的製剤など最先端の治療を駆使して皆様のお役に立ちたいと思います。生物学的製剤は治療費がかかる注射ですが、東北医科薬科大学病院 相談支援センターとの連携対応で皆様に合った治療を提案して参ります。

## イオンスタイル仙台卸町にて開催！いきいき健康セミナー



3月15日（金）イオンスタイル仙台卸町にて、東北医科薬科大学若林病院「いきいき健康セミナー」を開催いたしました。これまで「市民公開講座」は、病院内で開催してまいりましたが、今後はイオンスタイル仙台卸町様との共催イベントとして開催してまいります。

当日は春らしいお天気のもと、当院名誉院長 佐藤譲先生による「糖尿病の予防から治療までの最新医療」についての講演会に始まり、日本糖尿病療養指導士らによる血糖測定会・個別の相談会を実施しました。

おかげさまで、沢山の皆様にご来場いただきました。お客様からは「丁寧な説明でわかりやすかった」「こんな無料のセミナーは嬉しい」といったお声を多数いただき、充実したセミナーになったのではないかと思います。

参加して下さった皆様、多大なるご協力をいただいたイオンスタイル仙台卸町様、誠にありがとうございました！

次回は下記の通り予定しております。詳細は決まり次第、改めてご案内させていただきます。どうぞお買い物のついでに、お気軽にご参加ください！

### ■次回予定■

開催日時：2019年6月15日（土）PM  
開催場所：イオンスタイル仙台卸町  
内 容：呼吸器専門医をはじめとする  
専門スタッフによる講演、相談会



東北医科薬科大学 若林病院  
地域医療連携・相談室

〒984-8560 仙台市若林区大和町2-29-1  
TEL 022-236-5899 FAX 022-236-5920